

コロナ禍におけるリハビリテーション科の現場から ～事例報告も含めて～

尼崎市・野村医院 仲谷 武司（理学療法士）

昨年の当発表にて新型コロナウイルス感染症に対する当院の取り組みについて報告させていただきました。各メディアで多くの情報が流れ、また、近隣関係諸機関との情報交換により、各医療機関や介護施設等で様々な取り組みがなされていることも見聞きする中、当院もより適切な取り組みを自分達の出来る範囲内で実施しています。

とはいえ、未だこのウイルスは衰えるどころか新たな変異株の出現により勢いを増しており、いつ何が起こってもおかしくない状況が継続し、今後に対応に追われ続けることが予測されます。

今回は、医院の取り組みの中から、当院リハビリテーション科の現場の現状を事例（患者さんの事例・職員の事例）も挙げながら、自分たちに出来る取り組みの徹底、感染リスクへの意識継続など、その都度自分たちが感じ、考えたこと、行ったことを時間の許す範囲で述べさせていただきます。

もっとこうした方が良いとか、ここはよくない、など、意見交換できると幸いです。